



美瑛町そだちの教室通信
4月号
2020年 4月8日



新年度がスタートしました！

ご入学、ご進級おめでとうございます。新型コロナウイルスの流行により、昨年度末は突然の長期にわたる臨時休業となり、子どもだけでなく大人も不安な日々を過ごすこととなりました。まだまだ油断はできない状況ですが、新しいスタートラインに立つことができことをうれしく感じています。



今年度、そだちの教室は、1年生を加えて22名でスタートします。昨年度同様、子ども一人一人の「そだち」を支えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

よろしくお願ひします（担当者自己紹介）

4月に美馬牛小学校から異動し、そだちの教室の担当となりました。美瑛町での勤務は美瑛小、美馬牛小を経て3校目になります。

保護者の皆さんと一緒に、子どもたちの「わかった！」「できた！」「もっとやりたい！」に寄り添ってサポートしていきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。
(大西 美紀)

こんにちは。昨年度に引き続きそだちの教室で特別支援専門員をすることになりました小寺です。

これまでの経験を生かして、今年も子どもたちのために頑張りたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(小寺 美恵)

4月 さんの通級予定 日程表※色のついている日が通級日です。

() さんの通級日は () 曜日 () 校時です。

月	火	水	木	金
		1 学年始休業 (5日まで)	2	3
6 着任式・始業式	7 入学式	8	9	10
13 そだちの教室 通級開始	14	15	16	17
20	21	22	23	24
27	28	29 昭和の日(お休み)	30	31

「そだちの教室ってどんなことするの？」

そだちの教室では、次の目標をもって個別に自立活動を行っています。

☆ソーシャルスキルやコミュニケーション能力を高める
☆自分の得意・不得意を知り、自己理解を深める。（主に学習において）

子どもが何に困っているのかを知り、その子に合った学び方や気持ちのコントロールの方法を考えていきます。学級での集団行動や一斉授業の中での子どもの困り感は様々です。

- ・教科書がうまく読めない・書くことが苦手で時間がかかる・練習しても字を覚えられない
- ・正しく計算ができない・指示を聞き落としてしまう・発表するのが苦手 など

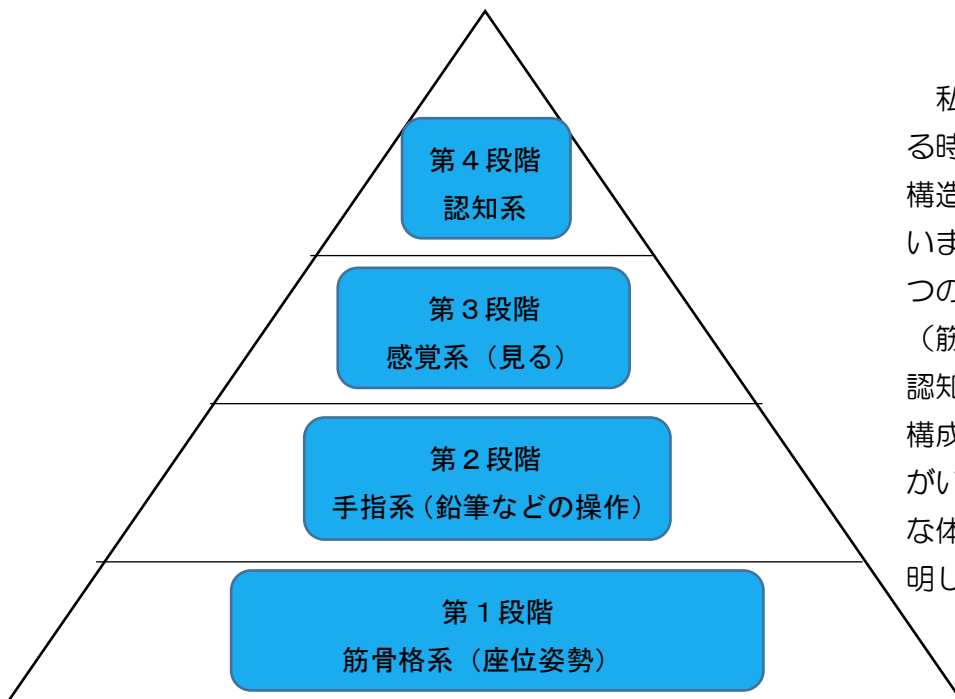
それぞれの課題の原因を分析して、自分に合った学び方を身につけられるように、保護者の方と一緒に考えていきたいと思っています。

書くこととは？ ～「気になる子どものできた！が増える書字指導アラカルト」

笹田 哲 著 より～

私は、子どもの体の動きを見る時の視点として、ピラミッド構造でとらえることをすすめています。ピラミッド構造は、4つの段階

（筋骨格系、手指系、感覚系、認知系）から構成されています。これにしたがい、書くためには、どのような体の仕組みが必要なのかを説明します。



第1段階は、姿勢を保つ、バランスをとる機能です。

第2段階は、鉛筆を握る、紙を押さえるなどの指先の操作機能です。

第3段階は、先生や黒板、教科書などを見る感覚機能です。

第4段階は、説明を聞いてやり方を考えたり、先生の話に注意をむけたりする、やる気、意欲などが含まれた、注意、思考の認知機能です。いわば学習の中核をなす領域で、ピラミッドの一番上位に位置しています。

子どもたちの学習に関わっていると、一般に意欲、理解力、表現力、注意力などの第4段階に目が向きがちです。書字の場合は加えて書く動作を直接に行う第2段階も注目されるでしょう。しかし、この第4段階、第2段階の能力を十分発揮するためには、第3段階の見る力や、第1段階の姿勢が十分備わっていなければなりません。そうして、このピラミッドがなりたってはじめて学習がうまくいくことを知っていただきたいと思います。

*保護者の方との面談について

そだちの教室では、基本的に月に1回保護者の方に来ていただいて、面談をしています。指導内容と子どもの様子、家庭での取り組みからの気づきなどを共有し、指導に生かしていきます。面談の日程については、前の月にご相談させていただきます。